

令和元年度 岡山県文化振興審議会

日時：令和2年1月21日（火）

10時～11時30分

場所：ピュアリティまきび

1 開 会

2 議 事

- ・ 令和元年度県実施事業について
- ・ おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について
- ・ 令和2年度県実施予定事業について

3 その他

- ・ 岡山県文化財保存活用大綱について

4 閉 会

岡山県文化振興審議会委員

任期：2018. 2. 1～2020. 1. 31

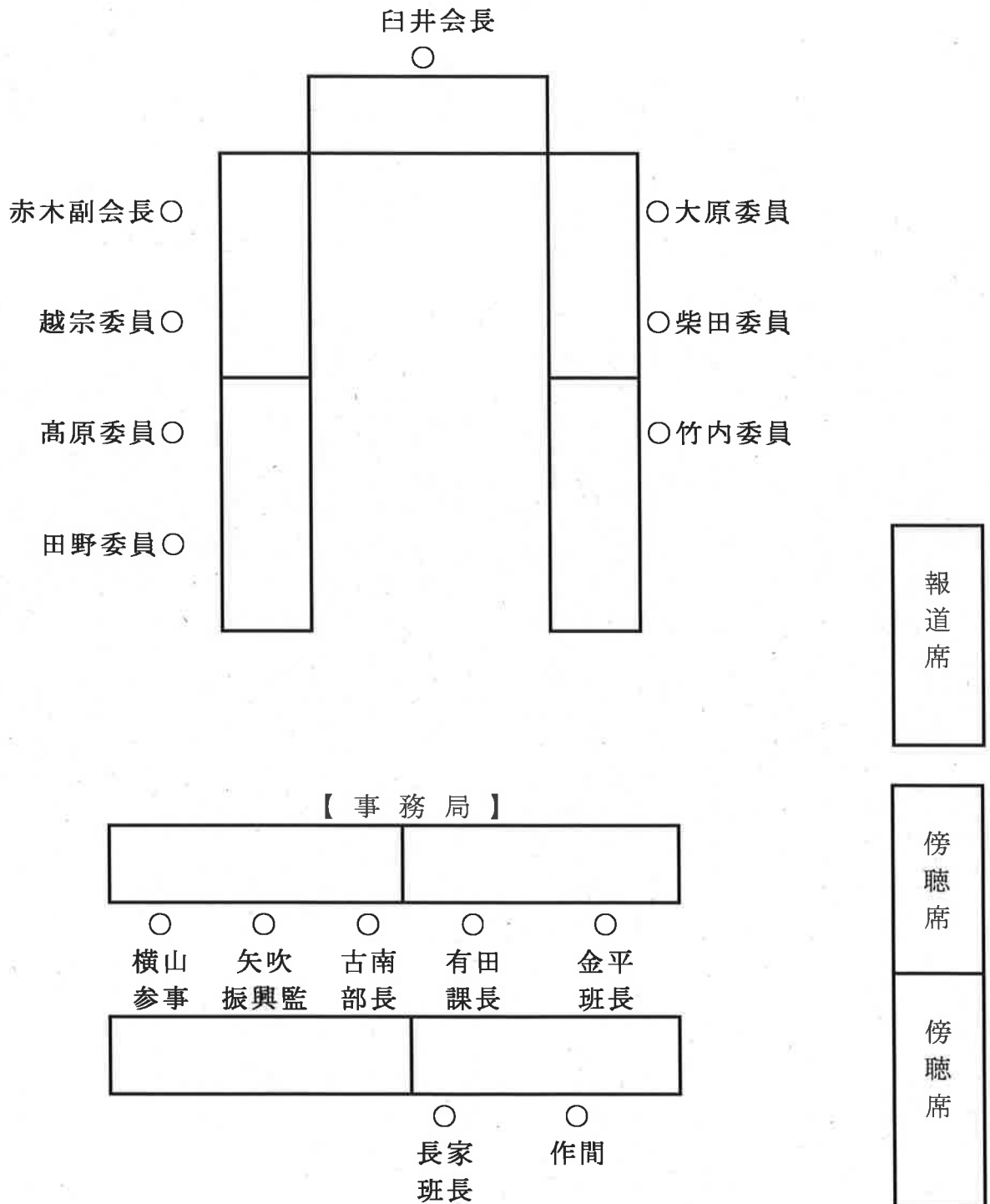
	氏 名	役 職 名
副会長	赤木 里香子	岡山大学大学院教育学研究科教授
会 長	臼井 洋輔	備前市立備前焼ミュージアム館長
	大原 謙一郎	公益財団法人大原美術館名誉館長
	神崎 宣武	民俗学者
	越宗 孝昌	山陽新聞社取締役会長
	柴田 奈美	岡山県立大学デザイン学部教授
	高原 洋一	版画・造形
	竹内 京子	くらしき作陽大学教授音楽学部長
	田野 智子	NPO法人ハートアートリンク代表理事

敬称略 50音順

令和元年度 岡山県文化振興審議会 配席図

日時：令和2年1月21日（火）10:00～11:30

場所：ピュアリティまきび



岡山県文化振興審議会規則

平成十八年三月二十四日
岡山県規則第五十一号

(趣旨)

第一条 この規則は、岡山県附属機関条例(昭和二十七年岡山県条例第九十二号)第四条の規定により、岡山県文化振興審議会(以下「審議会」という。)の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(所掌事項)

第二条 審議会は、次の事項を所掌する。

- 一 岡山県文化振興基本条例(平成十八年岡山県条例第十五号。以下「文化振興基本条例」という。)第八条の規定により知事から諮問された事項に関する調査審議及び意見の具申
- 二 その他文化振興基本条例の施行に関する意見の具申

(組織)

第三条 審議会は、委員二十名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者のうちから知事が任命する。

(委員の任期)

第四条 委員の任期は、二年とする。ただし、補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、任期満了後であっても、新たに委員が任命されるまでは、その職務を行うものとする。

3 委員は、再任されることができる。

(会長及び副会長)

第五条 審議会に会長及び副会長を置き、委員の互選によってこれを定める。

2 会長は、審議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第六条 審議会の会議は、会長が必要に応じて招集し、会長が議長となる。

2 審議会は、委員の半数以上が出席しなければ、会議を開くことができない。

3 審議会の議事は、出席委員の過半数でこれを決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(専門部会)

第七条 審議会は、その所掌事項の一部を分掌させるため、専門部会を置くことができる。

(委員以外の者の意見の陳述)

第八条 会長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に審議会の会議に出席して意見を述べさせ、又は説明させることができる。

(庶務)

第九条 審議会の庶務は、環境文化部文化振興課において処理する。

(その他)

第十条 この規則に定めるもののほか、審議会の運営に関し必要な事項は、会長が審議会に諮って定める。

附 則

この規則は、平成十八年四月一日から施行する。

附 則(平成二二年規則第二七号)抄

(施行期日)

1 この規則は、平成二十二年四月一日から施行する。

令和元年度 岡山県文化振興審議会

配 付 資 料

日時 令和2年1月21日（火）

10時～11時30分

場所 ピュアリティまきび

1 令和元年度県実施事業について

- (1) おかやま文化芸術アソシエイツ事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- (2) アートプロジェクトおかやま推進事業
 - ①岡山芸術交流2019の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ②美作三湯芸術温度の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
 - ③東京キャラバン in 岡山の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
 - ④アーティスト滞在・交流事業の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
 - ⑤芸術文化育成・支援事業の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
 - ⑥「アートで地域づくり実践講座」の開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- (3) 県立美術館事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

2 おかやま文化振興ビジョンの進捗状況について

- (1) おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系図・・・・・・・・・・・・ 14
- (2) おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)における成果指標の実績・・ 15

〈参考資料〉

- (1) 岡山県文化財保存活用大綱
- (2) おかやまの文化財一斉公開ガイドブック
- (3) おかやま県民文化祭パンフレット
- (4) 美作三湯芸術温度ハンドブック
- (5) 岡山フィルハーモニック管弦楽団津山特別公演ちらし
- (6) 岡山県文化情報発信サイト「アートプロジェクトおかやま」HPトップページ部分

おかやま文化芸術アソシエイツ事業

事業趣旨	公益社団法人岡山県文化連盟に「おかやま文化芸術アソシエイツ」を設置し、文化団体等の活動を支援するとともに、東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムへの参画を促進する。
事業概要	<p>1 専門人材の配置</p> <p>【プログラム・コーディネーター 1名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大月ヒロ子氏/有限会社アイデア代表取締役 <p>【サポーター・パートナー 3名】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・和田広子氏/ (公財) 福武教育文化振興財団 ・石田尚昭氏/ (公財) 岡山市スポーツ・文化振興財団 ・杉本克敬氏/Neighbor Kitchen代表 <p>2 主な事業・実績</p> <p>(1) 文化プログラムへの参画促進等 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの周知、参画の促進及びbeyond2020プログラムの認証受付・相談対応を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化プログラム認証件数・・・・・・・・・・ 320件 (平成31(2019)年4月1日～令和元(2019)年12月31日現在) <li style="margin-left: 40px;">〔 東京2020応援文化オリンピックアード・・・・ 92件 〕 〔 beyond2020プログラム・・・・・・・・・・ 228件 〕 <p>(2) 文化団体等の活動支援 文化団体等の活動に対する助言、支援を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化団体等からの相談件数・・・・・・・・・・ 86件 (平成31(2019)年4月1日～令和元(2019)年12月31日現在) <p>(3) 県内の文化芸術資源を発掘、再評価、活用するための調査事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化芸術交流実験室」(トークセッション&ワークショップ) 文化の各分野はもとより、福祉や教育、まちづくりなど様々な分野との交流を通じて文化資源を掘り起こすとともに、県内の人材や文化資源の横断的な出会いの場を創出した。 <p>(4) 文化活動に係る研究会、勉強会等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アート・マネジメント研修」 地域文化に関する専門職を養成することを念頭に、文化・芸術団体の中から支える職員の育成と意識向上のため研修会を開催した。 また、県内文化関係公益法人との情報交換会を同時に開催した。

文化芸術交流実験室

(講師敬称略)



6/30「モード写真の世界」

講師：北山由紀雄(岡山県立大学デザイン学部准教授)/ 場所:岡山県天神山文化プラザ(岡山市)/ 参加者:16名



7/12「映画制作の現場」

講師：竹井政章(映画・テレビの制作担当)本田孝義(映画監督)/ 場所:吉備路文学館(岡山市)/ 参加者:44名



7/28「建築探偵団其の参『土との対話』」

講師：カイル・ホルツヒューター(一級左官技能士、生物資源科学博士)/ 場所:パーマカルチャーセンター上糞(久米南町)/ 参加者:15名



**9/28「お金の仕組みから考える
文化芸術支援」**

講師：今井真理子（アーツカウンシル東京
ニア・プログラム・オフィサー）高田佳奈（岡
山県文化連盟主任）/ 場所：奉還
町4丁目ラウンジ・カド（岡山市）/ 参
加者：35名



10/20「ことばから紐解く歌の世界」
講師：遊興亭福し満（落語家）太田三
郎（アーティスト）/ 場所：岡山県天神山文
化プラザ（岡山市）/ 参加者：20名



**11/23「社会とアート
～ひきうける美術～」**
講師：宮本武典（キュレーター）太田三郎
（アーティスト）/ 場所：衆楽園迎賓館（津
山市）/ 参加者：15名



**12/1「地域おこし協力隊が育む
岡山の文化芸術！」**

講師：藤井裕也（NPO法人山村エンタープ
ライズ代表）/ 場所：高梁市図書館（高
梁市）/ 参加者：34名

【令和元（2019）年度 今後の開催予定】

1/26 「人にとって表現とは何なのか」

講師：嘉納礼奈（芸術人類学研究者、
アーツ千代田3331社会包摂型芸術支援事業チーフ）
木ノ戸昌幸（NPO法人SWING代表）
中野厚志（ぬかつくるとこ代表）
場所：いかしの舎（早島町）

3/4「ファシリテーション・グラフィックで振り返る、これまでの実験室」

講師：藤浩志（美術家、秋田公立美術大学大学院教授）
名畑恵（NPO法人まちの縁側育くみ隊代表理事、
錦二丁目エリアマネジメント株式会社代表取締役）
場所：岡山県天神山文化プラザ（岡山市）

アート・マネジメント研修

（講師敬称略）



7/23 「文化芸術の公民連携について」

講師：中村政人（東京芸術大学教授、
「アーツ千代田3331」の創設者）
場所：オリエント美術館ホール（岡山市）
参加：21団体、34名

【令和元（2019）年度 今後の開催予定】

3/5 「文化創造のための表現未満と地域素材以前」

講師：藤浩志（美術家、秋田公立美術大学大学院教授）
場所：岡山県天神山文化プラザ（岡山市）

岡山芸術交流2019の開催状況

事業趣旨	岡山城・岡山後楽園周辺の歴史文化ゾーン内において国際現代アート展を岡山市等と開催し、アートを通じた岡山の魅力発信と地域文化の一翼を担う若手人材の育成を推進する。
事業概要	<p>1 主催 岡山芸術交流実行委員会 会 長 大森雅夫（岡山市長） 副会長 佐藤兼郎（岡山県副知事）、松田久（岡山商工会議所会頭） 総合プロデューサー 石川康晴（公益財団法人石川文化振興財団理事長） 総合ディレクター 那須太郎（TARO NASU代表／ギャラリスト） アーティストディレクター ピエール・ユイグ（アーティスト） パブリックプログラムディレクター 木ノ下智恵子（大阪大学共創機構社会学共創本部准教授）</p> <p>2 タイトル IF THE SNAKE もし蛇が</p> <p>3 会期 2019年9月27日（金）～11月24日（日） 開館日は計51日間</p> <p>4 会場 旧内山下小学校、旧福岡醤油建物、天神山文化プラザ、オリエント美術館、岡山城、林原美術館、シネマ・クレール丸の内 ほか</p> <p>5 来場者数 311,731人</p> <p>6 主なプログラム・イベント</p> <p>(1) 学校連携 県内小中高等学校 76校 約4,600人の児童・生徒が校外学習や部活動等で来場し、鑑賞を行った。</p> <p>(2) 県立図書館に「岡山芸術交流」特設コーナーを設置 芸術交流の会期中、県立図書館1階に「岡山芸術交流」の特設コーナーを設置し、参加アーティストの作品集や本展のカタログ、現代アートに関連する書籍などをラインナップ。また、展覧会に来場した小学生が好きな作品を選び、コメントやイラストを入れて制作した「お気に入りカード」も設置した。</p> <p>(3) パブリックプログラム 「岡山芸術交流」が地域に開かれ、根ざし、持続・発展することを目的に、岡山内外の人、場所、文化資産の3つのポテンシャルを活かした様々な企画を実施した。</p> <p>① 岡山神社で蛇について語り合う 大森雅夫実行委員会会長と岡山神社の久山信太郎宮司を迎え、岡山芸術交流2019のタイトル「IF THE SNAKE もし蛇が」の「蛇」にまつわる意味やイメージについて語り合うトークイベントを開催した。</p> <p>② ゲスト企画 考古学、進化生物学、文化人類学のそれぞれの専門家を招き、個々の“研究眼”という鍵を手がかりに、岡山芸術交流を多角的な観点で捉えるためのトークイベントを開催した。 ・考古学編 四角 隆二（岡山市オリエント美術館副主査学芸員） ・進化生物学編 宮竹 貴久（岡山大学環境生命科学研究所教授） ・文化人類学編 松村圭一郎（岡山大学文学部准教授）</p> <p>④ 子どもナビと楽しむアートツアー 子どもたちの視点で岡山芸術交流の作品を大人にナビゲートするアートツアーを開催した。会期前に2回、会期中に1回開催。</p>

展示作品

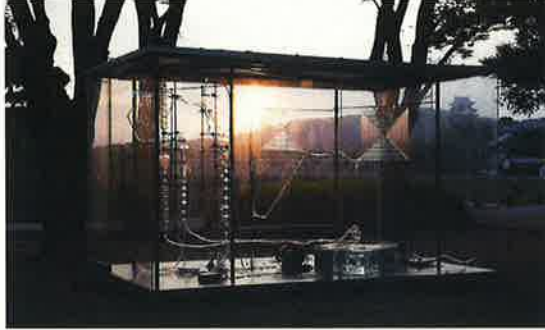
①



②



③



IF THE SNAKE, Okayama Art Summit, 2019

① John Gerrard, *X. laevis (Spacelab)*, 2017

Courtesy of the artist, Thomas Dane Gallery and Simon Preston Gallery

Pamela Rosenkranz, *Skin Pool (Oromom)*, 2019

Courtesy of the artist, Karma International, Miguel Abreu Gallery and Sprüth Magers
Photo: Ola Rindal

② Pamela Rosenkranz, *Healer (Waters)*, 2019

Courtesy of the artist, Karma International, Miguel Abreu Gallery and Sprüth Magers
Photo: Ola Rindal

③ Melissa Dubbin & Aaron S. Davidson *Delay Lines*, 2019

Collection of Ishikawa Foundation, Okayama

Courtesy of the artists
Photo: Ola Rindal

学校連携



※鑑賞支援

希望のあった学校には対話による鑑賞や会場でのアテンド、ガイダンスを実施した。

ゲスト企画



考古科学編

10/27『「古代オリエント」から知る都市の成り立ち』

ゲスト：四角隆二(岡山市立オリエント美術館副主査学芸員)
/ 場所:岡山市立オリエント美術館地下講堂(岡山市)/ 参加者:30名



進化生物学編

11/3『昆虫の生き残り術に習う創造的想像力』

ゲスト：宮竹貴久(岡山大学環境生命科学研究科教授) / 場所:サウダーチな夜(岡山市) / 参加者:25名



文化人類学編

11/14『「野生の思考」でアートをみる:自然・芸術・科学』

ゲスト：松村圭一郎(岡山大学文学部准教授) / 場所:ラウンジ・カド(岡山市) / 参加者:40名

美作三湯芸術温度の開催状況

事業趣旨	美作三湯にある宿泊施設等に、第一線で活躍する県内・外の気鋭のアーティストを招き、その作品の制作や展示を通して、この場所でしか味わうことができない新しい文化価値の創造と発信を行う。
事業概要	<p>1 主催 岡山県</p> <p>2 開催期間 令和元(2019)年10月5日(土)～令和2(2020)年1月13日(月・祝)</p> <p>3 開催場所 湯原、奥津、湯郷等の温泉地区にある宿泊施設及びその周辺 25か所</p> <p>4 来場者数 集計中</p> <p>5 概要 奈義町現代美術館 館長 岸本 和明にキュレーターとして参画してもらい、美作三湯にある宿泊施設等のそれぞれの場所に適した県内・外のアーティスト24名をマッチングさせ、作品の制作・展示を行った。 美術館とは異なる開放的な空間で、おしゃべりをしたり写真を撮ったりしながら気楽にアート作品を鑑賞できるのが大きな特徴。</p>

湯原温泉（8カ所+1カ所※前回(2016年)からの継続展示）



榎尾聡美「粒の中」



松岡徹「はんざきさん湯冷め姿」



児玉知己「symbol」

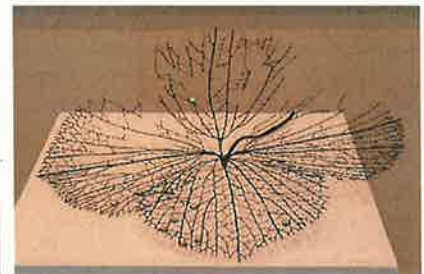
奥津温泉（7カ所）



徳持耕一郎「ギタリスト」



大間光記「美人にする彫刻」



尾崎雅子「時をとく」

湯郷温泉（10カ所）



柴川敏之「2000年後の温泉ミュージアム」



森山知己「花卉草木 格天井屏風」



高松明日香「逃避途上の休息」

東京キャラバンin岡山の開催状況

事業趣旨	東京オリンピック・パラリンピックの文化プログラムのひとつである東京キャラバンを、倉敷市倉敷物語館を会場に、東京都等と開催し、岡山の文化の魅力を発信する。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1 主催 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団アーツカウンシル東京、岡山県 2 開催日時 令和元(2019)年12月8日(日) 12:00・14:00・16:00 3 会場 倉敷市倉敷物語館 4 来場者数 約1,000人 5 概要 事前に岡山で取材した実話をもとに、岡山が舞台のストーリーを創作し、演劇やダンス、伝統芸能を織り交ぜ、45分程度の芝居を行った。12:00、14:00、16:00の3回公演で、各公演前には出演者が美観地区の練り歩きパフォーマンスを行った。 出演は、東京都内で活躍する俳優と地元岡山のダンサーや備中神楽の若手神楽師ら17名が参加した。

美観地区練り歩きの様子



公演の様子



※撮影:加賀雅俊

アーティスト滞在・交流事業の開催状況

事業趣旨	地域住民や地元アーティスト、NPO、市町村等が主体となり、地域資源を活用したアーティストの短期滞在制作（アーティスト・イン・レジデンス）を実施することで、地域の魅力を掘り起し文化による地域づくりを促進する。
事業概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> Ceramic Reflections between Japan and the United States 実施団体：遊美工房 鑑賞者：375名 参加アーティスト：5名（Gail Busch、Louis Katz 他） 倉敷市玉島地区を主会場に、短期滞在制作をはじめ、岡山県立大学と共同で行うワークショップなどを実施し、その制作作品を展示した。 また、県内の陶芸作家の窯元訪問やトークイベントなどの交流事業も行った。 会期：6月21日～28日、10月28日～11月10日 会場：遊美工房（倉敷市玉島）ほか </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 笠岡諸島アートブリッジ2019 実施団体：NPO法人ハートアートリンク 鑑賞者1,050名 参加アーティスト：8名（柳楽晃太郎、藤田龍平他） 笠岡諸島の白石島、高島で、島の暮らしや日常を素材に、島民とアーティストの協働により作品を制作・展示した。また、住吉港において、島での滞在制作を発表するドキュメントイベントを行った。 会期：8月10日～18日（作品展示）、9月21～23日（イベント） 会場：白石島、高島、住吉港 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> あかいわアトラリー2019 実施団体：あかいわアトラリー実行委員会 鑑賞者：3,584名 アーティスト：6名（李侖京、山下真未、金子泰子他） 赤磐市の山陽団地にある閉園した幼稚園を主会場に、子供たちをはじめ地域住民や地元企業、地元のアーティストが共同で作品の制作やステージ公演を実施した。 会期：9月21日～23日、28日、29日（ワークショップ） 10月12日～20日（展示、ステージ公演等） 会場：若草プラザ（旧若草幼稚園）ほか </div>

Ceramic Reflections between Japan and the United States



ワークショップ



窯元訪問



トークイベント



制作作品

笠岡諸島アートブリッジ2019



白石島松浦邸



白石島松浦邸裏庭



高島「天目岩」



住吉港トークイベント

あかいわアトラリー2019 OLD-NEWを紡ぐ



ワークショップ



李侖京の作品



ステージ公演



芸術文化育成・支援事業の開催状況

事業趣旨	<p>次世代を担う芸術家を育成するとともに、文化芸術による地域の活性化を図るため、岡山県にゆかりのある美術作家（「I氏賞」受賞作家等）及び新進の芸術家に対して、県内の美術文化施設での発表の場を提供するなど、創作活動を支援する。</p>
事業概要	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>片山高志展「距離と点景」ー同時開催 児玉知己展ー 入場者：1,000名 実施団体：EKG合同会社（PORT ART&DESIGN TSUYAMA） 東京在住の画家 片山高志の県北初の個展。同時にI氏賞受賞の画家の児玉知己の作品の展示を実施した。 会場：PORT ART&DESIGN TSUYAMA 会期：8月10日～21日 付帯事業：ライブ・パフォーマンス 8/10 出演：木太聡（鍵盤奏者） アーティストトーク【対談】8/11 出演：片山高志、児玉知己</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>小野耕石展～放たれた舟～ 入場者：375名 実施団体：NPO法人勝山・町並み委員会 関東在住の版画家 小野耕石の個展を真庭市で開催。展示最終日には、ピアニスト山地真美とのトーク&ライブを開催した。 会場：勝山文化往来館ひしお 会期：10月12日～27日 付帯事業：トーク&ライブ 10/27 出演：小野耕石、山地真美</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>加藤竜新作展「緑の叫び」 入場者：3,489名 実施団体：公益財団法人成羽町美術振興財団 ドイツ在住の画家 加藤竜の新作展を開催。初日には、ギャラリートークのほか、津山市在住の画家 築山弘毅とのトークイベントを開催した。 会場：高梁市成羽美術館 1階多目的展示室 会期：10月22日～12月11日 付帯事業：ギャラリートーク 10/22 出演：加藤竜 対談「日本とドイツのアートシーンについて」10/22 出演：加藤竜、築山弘毅</p> </div>

片山高志展「距離と点景」ー同時開催 児玉知己展ー



片山高志作品の展示



児玉知己作品

小野耕石展～放たれた舟～



放たれた舟



Inducer



トーク&ライブ



展示風景

加藤竜新作展「緑の叫び」



緑の叫び



オープニングトーク



対談

「アートで地域づくり実践講座」の開催状況

事業趣旨	地域の資源を活用し、地域のイメージアップとにぎわい創出につながる文化芸術イベントの企画やコーディネートができる人材を育成し、文化を核とした地域づくりを推進する。
フィールドワーク場所	熊山英国庭園（赤磐市殿谷170-1）
事業概要	<p>1 講座講師 伊永 和弘（美術家）、浅井 克俊（ココホレジャパン（株）代表取締役）、江森 真矢子（（一社）まなびと理事）</p> <p>2 講座受講生 17名</p> <p>3 講座の開催（6月9日～1月26日） 全19回 企画の進め方や実際のアートイベントの運営、イベントの広報戦略、効果的な広報物の作成方法などを講座講師、外部講師から学ぶ座学講座に加え、地域の資源や歴史・文化を生かしながら、受講生自らが企画・準備から開催・運営までを実際に経験する文化イベント（実証イベント）を行った。 実証イベントの経験等を企画力に繋げるため振り返りを踏まえ、イベント企画書を作成しプレゼンテーションを行った。</p> <p>4 実証イベントの開催（11月23日～24日） 地域資源を活用し、地元住民との協働により、受講生自らが企画・準備・開催・運営までを行う実証イベントを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開催場所：熊山英国庭園（赤磐市殿谷170-1） ・ タイトル：赤磐サンクスギビングARTデイ ・ プログラム：19件 ・ 概要：受講生が「秋の庭園に感謝の花を咲かせましょう」をテーマに企画し、「ありがとう」の気持ちをアートに託して大切な人に届ける実証イベントを開催した。 今注目のLiveペイントパフォーマンスや庭園ならではのトークショーをはじめ、大人から子どもまで家族で楽しめるワークショップと地元ならではのフードブース等も登場し、来場者の笑顔と笑い声に包まれた2日間となった。 ・ 来場者数：約1,100人 <p>5 講座修了生の交流 講座修了生を対象として交流会を開催した。講座修了生のうち、継続してイベントを実施している団体・個人から事例発表を聞いた後に意見交換会を行うなど、今後の活動に向けた講座修了生間のネットワークの強化を図った。</p>

講座（座学、アートイベント見学、フィールドワーク） 6月9日～1月26日 全19回



講座でのプレゼンテーション



アートイベントの見学



実証イベント終了後の振り返り

実証イベント 11月23日～24日



オープニング フラワーシャワー



Liveペイント パフォーマンス



Liveペイント ワークショップ



切り絵展示



感謝のペーパーフラワー



親子で竹細工



アロマワックスパー



レジンアクセサリー



栗染め体験



だれでもピアノ on ステージ



トークショー「植物の遊び方」



あおにい 歌のステージ



とっておきのひと鉢づくり



Mini Log Bakeryまきストーブ、夢 百姓



ドイツの森、Y's Table

県立美術館事業

国内外の優れた芸術活動を紹介する展覧会や美術館講座の開催等、県立美術館の機能を最大限に活用した事業を展開した。

1 展覧会事業

令和元(2019)年度特別展等

展覧会名	期 間	入館者数 (人)
江戸の奇跡・明治の輝き (3/15~4/21)	4/1 ~ 4/21	19,805
ロマンティック・ロシア	4/27 ~ 6/16	18,657
第5回日本美術展覧会岡山展	7/6 ~ 7/28	11,035
第70回岡山県美術展覧会	9/4 ~ 9/15	6,520
熊谷守一展	9/28 ~ 11/4	9,432
第66回日本伝統工芸展岡山展	11/14 ~ 12/1	5,063
ミュシャと日本、日本とオルリク展	1/4 ~ 2/11	
坂田一男展	2/18 ~ 3/22	

<参考>令和2(2020)年度特別展

展覧会名 (仮称)	期 間
高畑勲展	4/10 ~ 5/24
THE備前	6/5 ~ 7/12
ミレーから印象派	7/21 ~ 8/30
第71岡山県美術展覧会	9/9 ~ 9/20
第67回日本伝統工芸展岡山展	11/13 ~ 11/29
マイセン動物園展	12/4 ~ 1/31
雪舟と玉堂二人の里帰り	2/10 ~ 3/14

2 県立美術館魅力UP事業

県立美術館が県民や観光客にとって、気軽に行ってみたい場所となり、入館者の増となるよう積極的な情報提供・広報、きめ細かいサービスの提供を行い、美術館自体の魅力向上を図った。

○「岡山の美術」(常設展)魅力強化事業

所蔵作品に加え、借用作品を展示し、充実した内容で集客アップを図った。

「太田三郎展」9/28 ~ 11/4

「衣笠豪谷展」11/8 ~ 12/15

<参考>令和2(2020)年度常設展

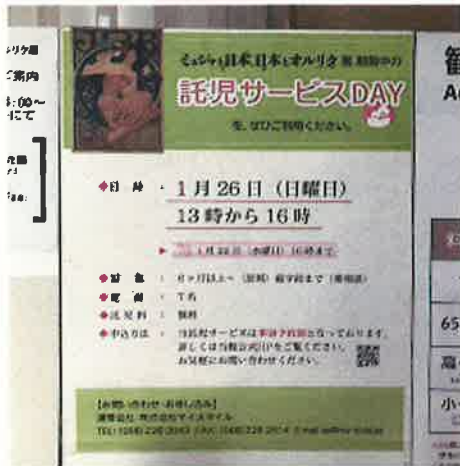
東京オリンピック・パラリンピック協力事業として「桃太郎」をテーマにインバウンドの誘客にも向けた展示を行う。 4/10 ~ 5/24

○美術館魅力発信事業

魅力発信スタッフにより、メディアや地元観光雑誌等への積極的な情報提供や、SNSを活用したタイムリーな情報発信を行った。

○美術館利便性向上事業

託児サービス、手話つきフロアレクチャーを実施した。



○外国語表記の強化事業

外国版チラシ、リーフレットの作成、案内や作品等のに関する外国語表記等を充実させた。

3 次世代ファン開拓事業

○次世代ミュージアムファン確保事業

若い世代の人たちに「美術館とのよき出会い」や「生涯を通じ芸術に触れるきっかけ」を積極的に提供することで、美術館を身近に感じ、生涯にわたって美術館に足を運ぶ環境づくりを目指した。

- ・学校と美術館の連携委員会による事業検討の継続
- ・美術館学習をサポートする教員等の人材育成
- ・美術館教育素材の検証・開発・実践

○キャンパスメンバーズ制度の導入

大学生等に気軽に美術館へ足を運んでもらうため、既に県で取り組んでいた「岡山後楽園等キャンパスメンバーズ制度」に、平成27年1月から岡山県立美術館も参加した。

大学や短期大学、専修学校等に所定の会費負担を依頼し、メンバーになった学校(現在29校)に在席している学生に展覧会(特別展を除く)を無料で鑑賞してもらう制度〔令和元(2019)年度大学生等来館実績 953人(うち制度利用 591人)〕

○ 学校と美術館の連携事業

教育普及展 みんなの参観日「図工の時間・美術の時間ー子供の学びー」を開催した。



4 「おとなり美術館」事業

県立美術館と市立オリエント美術館が連携し、定期的に展覧会情報等の交換を行いながら、相互の情報発信と利用促進を目指した。（平成27年度から）

- ・ポスターやチラシ等で相互の展覧会をPRするコーナーの設置
- ・所蔵品を1点ずつ交換して紹介する「サテライト展示」
- ・入館チケットの半券を相手館に提示すると団体料金で鑑賞できる制度の導入
- ・美術館ボランティアの相互勉強会の開催 等



5 その他

○岡山県博物館協議会

平成3年に県内の博物館・美術館相互の発展を目的に結成

県内会員85施設（R元）で組織（事務局：県立美術館）

- ・総会開催（記念講演会等）

令和元(2019)年5月21日「営業と連携でつくる課題解決型の図書館」

- ・研修会

令和元(2019)年10月31日「インバウンドを考える」

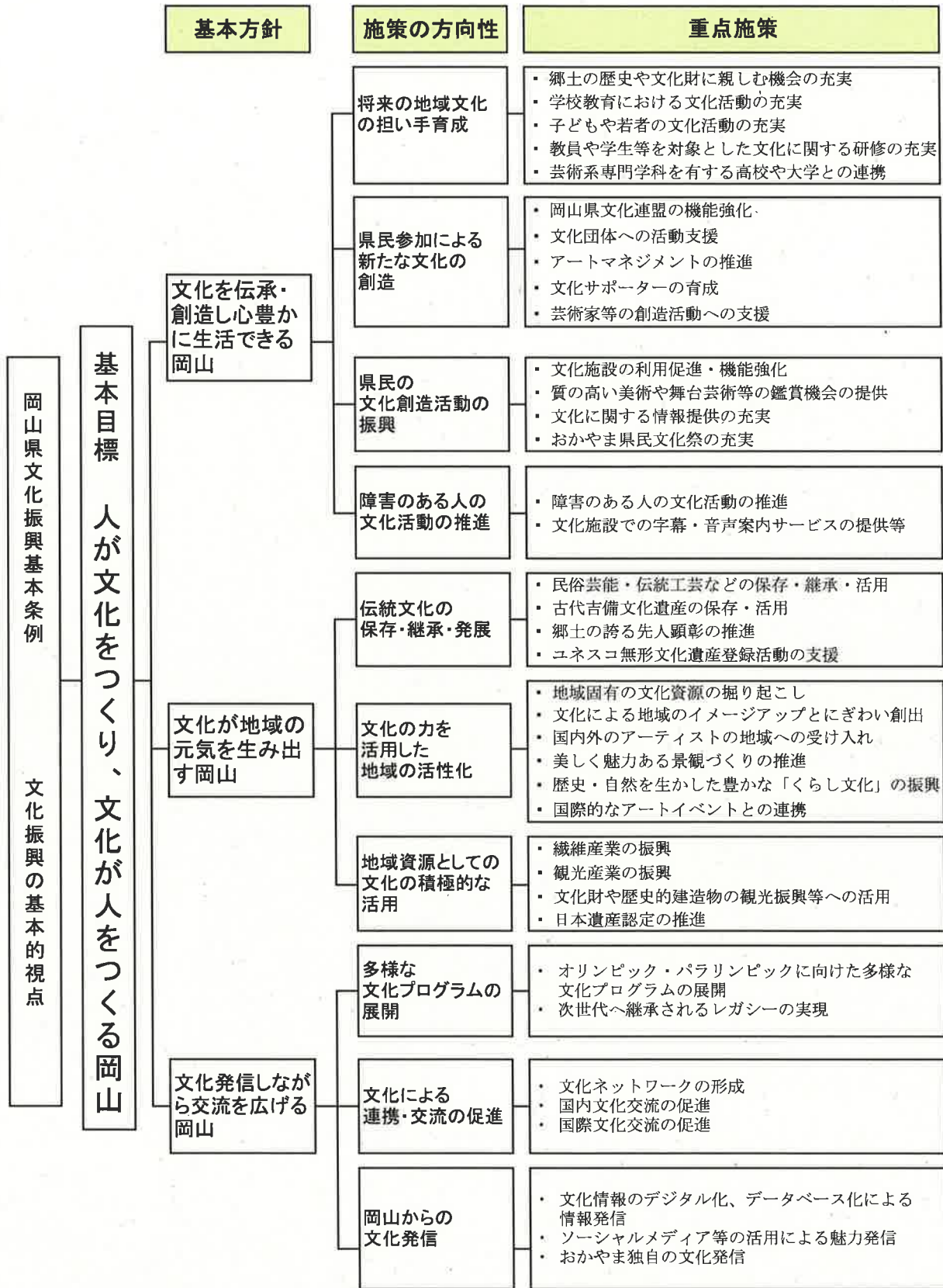
令和2(2020)年2月末 実施予定

- ・岡山史料ネット会合（岡山県平成30(2018)年7月豪雨被害情報、被災史料、文化財について）5回（H31(2019).5～R2(2020).1月）開催
- ・リーフレット「おかやま博物館なび」加盟団体へ配布
- ・会報「岡山の博物館」

令和元(2019)年8月（56号）発行

令和2(2020)年3月（57号）発行予定

おかやま文化振興ビジョン(2018-2027)体系図



- おかやま文化振興ビジョンとは・・・
- 岡山県文化振興基本条例に基づく、文化振興に関する基本計画として平成30年に策定
 - 取組期間は10年間(平成30(2018)年度～令和9(2027)年度)
 - 令和4年(2022)度に中間見直しを行う予定

おokayama文化振興ビジョン(2018-2027)における成果指標の実績

1 文化を伝承・創造し心豊かに生活できる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
文化施設利用者数	483,612人	530,000人	508,154人	384,268人
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				

(1) 将来の地域文化の担い手育成

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
おokayamaの文化財キッズページ年間アクセス数	854件 (2016年度)	1,800件 (2020年度)	1,874件	2,107件
(説明) おokayamaの文化財キッズページ年間アクセス数				
学校行事で県立美術館を訪れた人数	3,661人	4,800人	2,932人	1,568人
(説明) 授業や部活動などの学校行事で県立美術館を訪れた人数				
子どもみらい塾講師派遣回数	406回	530回	390回	323回
(説明) 岡山県文化連盟が芸術・文化の指導者を講師として学校等に派遣した回数				
優れた芸術を鑑賞した学校数	668校	1,300校	935校	1,081校
(説明) 県や国が実施するスクールコンサートや、青少年劇場、巡回公演事業等を開催した学校の累積数				
アウトリーチ活動実施回数	39回	43回	19回	10回
(説明) 県立美術館、県立博物館、ルネスホールが実施したアウトリーチ活動の回数				

(2) 県民参加による新たな文化の創造

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数	—	400件	151件	237件
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツへの相談件数の累積数				
文化関係各種助成金の採択件数	31件	40件	23件	26件
(説明)文化庁、日本芸術文化振興会、地域創造等の団体が募集した助成金事業に採択された件数				
県が実施するアートマネジメント講座修了者数	69人	200人	98人	115件
(説明)県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				
県立美術館ボランティア数	89人	100人	87人	98人
(説明)県立美術館に登録しているボランティア数				
岡山県美術展覧会への応募点数	3,296点	3,300点	2,696点	2,600点
(説明)岡山県美術展覧会へ一般応募された作品(日本画、洋画、工芸、書道、写真、彫刻)の点数				

(3) 県民の文化創造活動の振興

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
文化施設利用者数	483,612人	506,000人	508,154人	384,268人
(説明)県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館の利用者数				
「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合	30.2% (2016年度)	38.0% (2020年度)	28.8%	40.4%
(説明)県民満足度調査「普段の生活の中で、芸術・文化、スポーツ等を実践したり、観て楽しめる地域になっている」と感じている人の割合				
「岡山文化情報」ホームページアクセス数	25,697件	34,000件	67,472件	27,740件
(説明)県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県民文化祭参加者数	370,978人	408,000人	197,982人	220,000人
(説明)おかやま県民文化祭への総参加者数				

(4) 障害のある人の文化活動の推進

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
障害のある人のアート展への応募点数	—	250点	294点	205点
(説明)岡山県主催の障害者アート展への応募点数				
beyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数	—	1,100件 (2020年度)	377件	590件
(説明)岡山県が認定するbeyond2020プログラムのうち障害のある人にとってのバリアを取り除く取組を含むプログラムの認定件数の累積数				

2 文化が地域の元気を生み出す岡山

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R9(2027)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
地域の特色や魅力を生かす取組を展開できるアートマネジメント人材の育成数	69人	500人	237人	288人
(説明)おかやま文化芸術アソシエイツが実施するアートマネジメント研修受講者数と県が実施するアートマネジメント人材を育成するための講座を修了した受講生の累積数				

(1) 伝統文化の保存・継承・発展

指 標 名	現 況 値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目 標 値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
日本伝統工芸展への応募点数	116点	120点	67点	64点
(説明)日本伝統工芸展に県内在住者が応募した点数				
登録文化財の登録件数	275件	310件	317件	330件
(説明)登録文化財の登録件数				
犬養木堂記念館及び岡崎嘉平太記念館利用者数	25,772人	29,000人	29,727人	20,877人
(説明)犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館の利用者数				

(2)文化の力を活用した地域の活性化

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数	—	2,000件 (2020年度)	618件	938件
(説明)東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				
県民文化祭地域フェスティバル実行委員会への参加団体数	118団体	130団体	354団体	220団体
(説明)おかやま県民文化祭地域フェスティバル(備前・備中・美作)の実行委員会に参加した団体数				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加アーティスト数	20人	25人	19人	19人
(説明)県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加アーティスト数				
地域の景観づくりに主体的に取り組む景観行政団体(市町村)数	8団体	10団体	8団体	8団体
(説明)景観計画の策定等、地域独自の景観形成施策を実施する景観行政団体(市町村)数				
外国人旅行者宿泊者数	133,082人	300,000人 (2020年度)	356,924人	172,964人 (4-9月分実績)
(説明)県が調査している外国人旅行者宿泊者数				

(3)地域資源としての文化の積極的な活用

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
観光入込客数	1,433万人	1,500万人 (2020年)	1,443万人 (H30暦年)	7月に公表予定 (R1暦年)
(説明)観光庁「観光入込客統計」(暦年調査)による観光入込客数				
後楽園の入園者数	744,039人	900,000人 (2020年度)	824,499人	698,219人
(説明)後楽園の入園者数				

3 文化発信しながら交流を広げる岡山

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R9(2027)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
文化施設ホームページアクセス件数	360,035件 (2016年度)	432,000件	946,080人	752,512人
(説明) 県立美術館、天神山文化プラザ、ルネスホール、犬養木堂記念館、岡崎嘉平太記念館、県立博物館のホームページアクセス件数				

(1) 多様な文化プログラムの展開

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムの件数【再掲】	—	2,000件 (2020年度)	618件	938件
(説明) 東京オリンピック・パラリンピックに向けた文化プログラムとして、国、県等が認定する文化イベント件数の累積数				

(2) 文化による連携・交流の促進

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
文化に関わる人々のネットワークづくりのためのワークショップ等受講者数	—	1,500人	572人	751人
(説明) おかやま文化芸術アソシエイツが実施する文化に関わる人々のネットワークづくりのためのレクチャー・ワークショップ受講者数の累積数				
国民文化祭への派遣団体数	8団体	10団体	5団体	4団体
(説明) 国民文化祭への派遣団体数				
県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業参加外国人アーティスト数	5人	7人	4人	3人
(説明) 県が実施するアーティスト・イン・レジデンス事業への参加外国人アーティスト数				

(3) 岡山からの文化発信

指 標 名	現況値 H24(2012)年度～ H28(2016)年度 平均	目標値 R4(2022)年度	H30年度 (2018)	直近の実績値 (R1.12末)
「岡山文化情報」ホームページアクセス数【再掲】	25,697件	34,000件	67,472件	27,740件
(説明) 県内の文化施設や文化イベント等を紹介するホームページ「岡山文化情報」へのアクセス数				
県立美術館フェイスブック”いいね”の数	—	1,900件	1,614件	1,791件
(説明) 県立美術館フェイスブック”いいね”の数の累積数				

※累積数を指標としている場合、現況値はH28(2016)年度現在の累積数を記載している。